

出雲圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
(フォローアップ)

- ・平成30年度の実施状況
- ・令和元年度の取組予定

項目	1. 水害危険性の周知促進（水位周知河川の指定）	
内容	H30年度取組	水位周知河川の指定検討（神戸川）
	令和元年度	水位周知河川の指定（神戸川）【平成31年4月22日施行】
取組機関	島根県	

神戸川（県管理区間）

- 比較的河川規模が大きく、水位到達情報による避難行動が可能
- 急流河川で氾濫時には人的被害が懸念

【平成 18 年 7 月洪水】



出雲市所原町

【昭和 61 年 7 月洪水】



出雲市佐田町八幡原



【昭和 50 年 7 月洪水】



出雲市佐田町反辺（波多川）

出典：中国地方の水害

水位周知河川での取組み

- 河川管理者による**水位到達情報**（氾濫危険水位等）の発表【水防法第13条2】

今後
 河川管理者による**洪水浸水想定区域**の公表【水防法第14条】
 市町村による**洪水ハザードマップ**の作成【水防法第15条】
 要配慮者利用施設の管理者等による**避難確保計画**作成、訓練【水防法第15条3】



- ◆ 水害リスクを知ること、平時における 住民等の備え
- ◆ 段階的な水位情報の発信により、洪水時の時間的余裕を持った対応

逃げ遅れによる人的被害の防止・軽減

項目	6. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県）【H31.3完成】
	令和元年度	次期水防情報システム運用（島根県）
取組機関	島根県	

閲覧方法

パソコン

<https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマートフォン

<https://www.suibou-shimane.jp/s>



【次期水防情報システムのポイント】

①スマートフォン用サイト追加

スマートフォン画面の特徴

- ・スマートフォンの画面サイズに適した画面構成で情報を提供
- ・地図の拡大・縮小が可能
⇒見たい場所をすぐに見られる
- ・GPS機能で自分の場所を表示できる
⇒周辺の危険な箇所を確認できる



水位状況表



河川監視カメラ情報

②画面構成の改善

利用しやすく、見やすい画面構成

- ・地図や表などを用い、危険度状況に応じてアイコン等を着色することで視覚的に危険状況が確認できる
- ・上と横にタブを設けて、見たい画面への移動が簡単にできる



県内の状況が直感的に把握できる
トップページ画面

③提供する情報内容の充実

河川監視カメラ情報

視覚的に水位状況の変化を把握できる

※実例



過去の画像を並べて表示し水位変化が把握できる

危険度レベルに応じた一覧表示

水位の危険度レベルに応じて着色をし、危険度が高い観測局から並べて表示することで、危険箇所の把握が容易にできる。



項目	6. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県）【H31.3完成】
	令和元年度	次期水防情報システム運用（島根県）
取組機関	島根県	

○水防情報システムの周知を図るためパンフレットを作成（一般向けと小学生向けの2種類）
小学生向けパンフレット

おとな 大人たちに おし 教えてあげよう!

すいぼうじょうほう
しまねけん 島根県 水防情報システム

島根県水防情報システムは、県内の様々なところにある観測局で雨の量や川の水位、ダムの上り下りなどのデータを集めて、表示・記録しています。また、これらのデータを管理して、洪水調節や水防警報などの必要な対策・支援をいち早く行っています。

いまますぐアクセス! <https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマートフォンは上段QRコードから

しまねけん内の雨の量や川の水位が一目でわかるよ!

いま今このエリアがどんな状態かチェックしてみよう!

危険な箇所を確認しよう!

今、どこが危険なのか色でわかるよ! 紫や赤のエリアは特に気をつけよう!

カメラで今の状況を見てみよう!

川の水位はカメラで見られるよ! 平常時より水位が高い時は大人の人に伝えてどう行動するか確認しよう!

スマートフォンでも使えるよ!

今、自分がいる所の情報が見られるから、外にいるときはお家の人と一緒に見てみよう!

拡大・縮小が簡単にできるから、良たい場所をすぐに見られるよ!

今のエリアがどんな状態なのか、スマホからも確認できるよ!

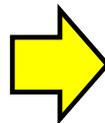
項目	6. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H30年度取組	—
	令和元年度予定	雨量計・水位計の更新（島根県）
取組機関	島根県	

◆雨量計・水位計の更新

現状

- ◆観測施設の老朽化に伴う通信異常
- 雨量計・水位計整備 H8年度から順次整備
- 河川監視カメラ施設 H13年度から順次整備

更新

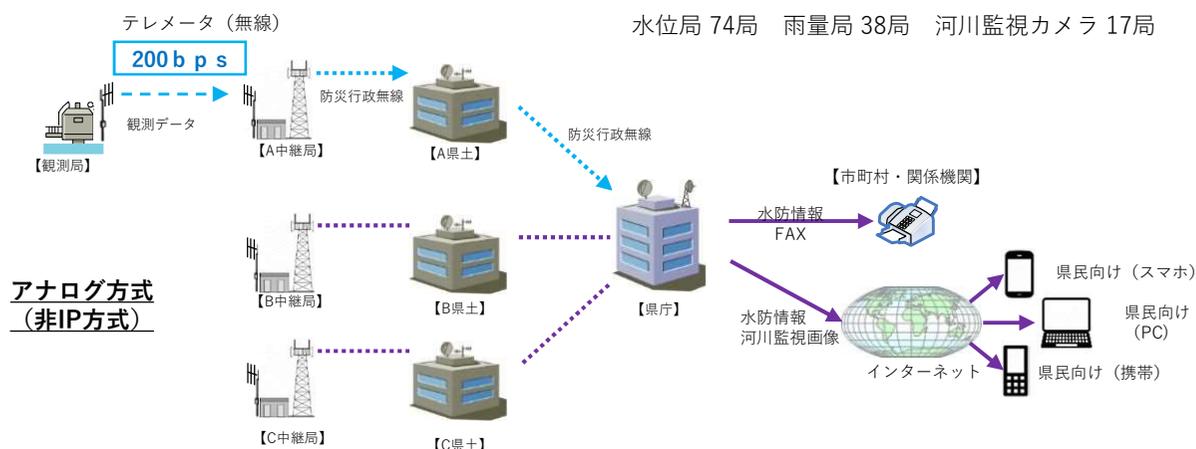


整備

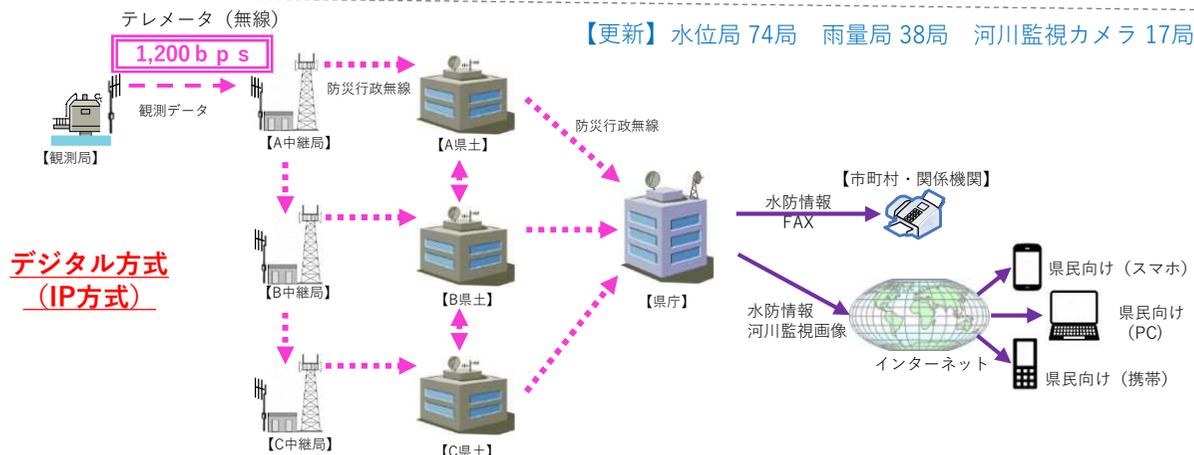
- ・観測施設更新による**確実な情報の提供**
- ・IP方式移行による**通信性能の向上**
〔通信の冗長化・高速化〕

整備内容

現状



整備



項目	6. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H30年度取組	大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始、降水短時間予想を現行の6時間先から15時間先へ延長（松江地方気象台）
	令和元年度予定	警報、注意報の基準について評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台	

気象庁 Japan Meteorological Agency

気象庁ホームページ「今後の雨」

別紙

「解析雨量・降水短時間予報」ページを「**今後の雨（降水短時間予報）**」ページにリニューアルします。
 提供開始日時：平成30年6月20日（水）11時（予定）
 新しいページのURL：<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

パソコン・タブレット

見たい地域に自由に移動し、拡大や縮小もできるようになります

「高解像度降水ナウキャスト」や「危険度分布」とコンテンツの切り替えができるようになります

過去の実況から**15時間先の予報**まで見たい時刻に自由に移動できるようになります

スマートフォン

スマートフォンでも見やすくなります

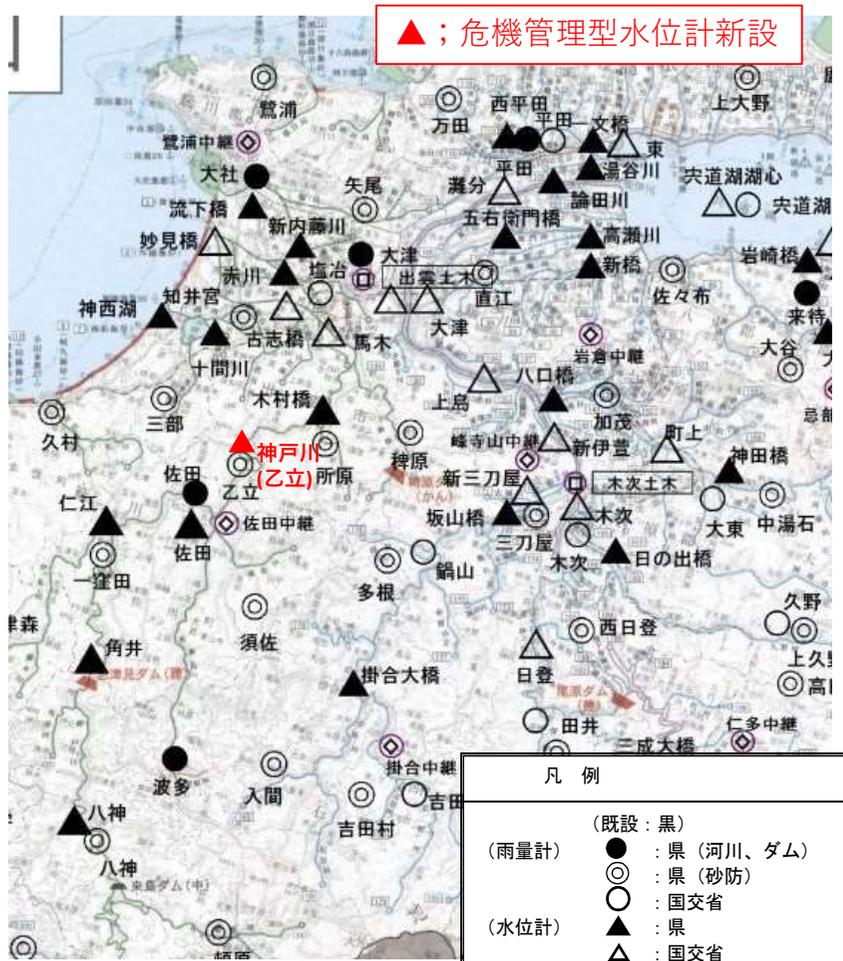
位置情報取得機能により自分のいる地域を自動で取得できます

リニューアル!!

リニューアル!!

項目	7. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	H30年度取組	島根県/危機管理型水位計の整備、運用開始
	令和元年度	島根県/危機管理型水位計の運用
取組機関	島根県	

危機管理型水位計の整備 (H31.3.20運用開始)



非接触式水位計

神戸川 (乙立橋)

・洪水時に川の水位観測をおこなう機器です。
 ・「川の水位情報」サイトで水位が確認できます。

川の水位情報
 (危機管理型水位計)

URL : <https://k.river.go.jp/>

管理者: 島根県土木部河川課
 連絡先: 0 8 5 2 - 2 2 - 5 5 2 9

項目	7. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	H30年度取組	島根県/危機管理型水位計の整備、運用開始
	令和元年度	島根県/危機管理型水位計の運用
取組機関	島根県	

危機管理型水位計の閲覧方法



3つの主な機能

観測所の一覧画面から観測地点を選択すると自動でズームし、その観測地点の河川水位を簡単にみられます。

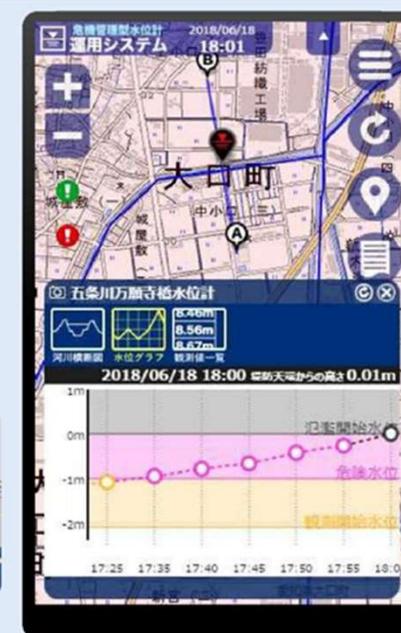


河川周辺の土地の高さとリアルタイムの河川水位が重ねて表示され、氾濫した場合の危険度がわかります。



スライドさせて周辺の土地の高さを見れます。

リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、氾濫の危険度がわかります。



項目	8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	令和元年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	協議会全体	

○出雲市の取組状況

北陽小学校での防災授業(H30.10.11)



市の広報誌を活用した情報発信 (広報いずも 6月号)

梅雨の季節となりました
大雨や土砂災害に備えてください

おたずね：防災安全課 ☎21-6606 および各支所

市では、避難等についての情報を防災行政無線、ケーブルテレビ、有線放送(情報いずも・ひらたCATV音声告知・大社ご縁ネット)、エフエムいずも、ホームページ、いずも防災メール、緊急速報メール(NTTドコモ、au、ソフトバンクモバイル)、広報車でお知らせします。

避難について

「避難」とは、災害から命を守るための行動です。
次の行動が「避難」になります。



- ① 指定避難所への移動
- ② 自宅等から移動して身近でより安全な場所への移動
- ③ 自宅等の安全な場所(2階等)への退避⇒屋内安全確保

※災害の種類やお住いの地形から、室内の安全な場所に移動することも「避難」の一つです。
※地区以外の指定避難所であっても、自宅等からより安全に避難できる場所の指定避難所へ避難しましょう。

項目	8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	令和元年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	協議会全体	

○島根県の取組状況

実施事例～河川沿いに立地する保育園への出前講座～

実施日：平成30年8月30日（木）
 対象：平田保育所3～5歳児 130名
 ほか1施設

【出前講座の内容】

○紙芝居「台風がくるぞ」

○スライド「洪水から命を守るために気を付けること」
 避難するときの合言葉について

避難する時の合い言葉「おはしも」

- お おさない
- は はしらない
- し しゃべらない
- も もどらない

出前講座の様子



H30.8.30平田保育所



H30.11.21みなみ保育所

項目	8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	令和元年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	協議会全体	

○出雲河川事務所の取組状況

防災出前講座（出雲市中天神地区）（出雲河川事務所）
(H30.11.18)

防災出前講座（出雲市大津地区）（出雲河川事務所）
(H30.7.24)

地域住民を対象とした出前講座を実施

出雲河川事務所では出雲市民会館において、**中天神地区防災会避難訓練において、防災をテーマにした出前講座を実施しました。**

出雲河川事務所の周辺地域での地区防災会の避難訓練に合わせて、防災をテーマに出前講座を実施しました。
はじめに、TEC-FORCE発足から10年が経ち、今後も地域の安心につながる活動を行う紹介。
河川の特徴をおさらいし、次に斐伊川水系の過去の被災状況、平成30年9月台風24号における斐伊川、神戸川における対応状況を説明し、ダムや放水路の効果についてもPRした。
水防砂意識社会再構築ビジョンにもふれ、災害のリスクをしり、情報の入手の仕方、情報の活用についても説明を行った。
出雲市からハザードマップが配布されており、さらに平成30年7月豪雨、台風24号の発生も重なったことから、参加された地域住民の防災意識も高い状況であった。



職員による説明の様子



～ 地域の方からの主な質問 ～
・ダムの機能を失くなったとき、下流が浸かっているが、よその県とかでも、ダムの放流によって下流が浸かるのか、避難したくても、既にその時には逃げられない状態になっていると聞かされた。

～ 回答 ～
・ダムが放流して、浸かっているわけではなく、ダムは流入している水をカット、貯留しながら下流に放流するのが正常で、ダムがいっぱいになったとき、ダムが貯留している分を流す訳ではなく、ダムに流入した分をそのまま流すだけで、要はダムがないときと同じ状態になるということ。逃げられない状態なのは、ダムが貯留出来なくなる程、雨が降っている。内水もそれだけ増え、川に流れないので、当然溢れる。ダムが流しているから下流が浸かるということではない。ダムからの放流だけではないので、河川も溢れる場合もある。なので、いつもと違う川の音などに、気付いたら早めの避難をお願いしているということ。

～主な内容～
・TEC-FORCE10年の紹介
・河川の特徴
・斐伊川の過去の洪水
・河川整備について
・平成30年9月台風24号状況
・水防警報等について
・タイムラインについて
・浸水ナビの活用方法等

実施日：平成30年11月18日（日）
10:00～11:00
参加者：中天神地区防災会 40人
会場：出雲市民会館

地域住民を対象とした出前講座を実施

出雲河川事務所では斐伊川沿川にある大津コミュニティセンターにおいて、**大津地区防災訓練の事前説明会において、防災をテーマにした出前講座を実施しました。**



会場の様子



職員による説明の様子



はじめに、平成30年7月豪雨における中国地方における被災状況や対応状況を説明し、次に斐伊川水系の過去の被災状況や浸水想定区域図について説明を行った。
出前講座直前に出雲市からハザードマップが配布されており、さらに平成30年7月豪雨の発生も重なったことから、参加された地域住民の防災意識も高い状況であった。

～主な内容～
・平成30年7月豪雨について
- 中国地方の被災状況
- TEC-FORCEの活動状況
・防災について
- 斐伊川の過去の洪水
- 浸水ナビの活用方法
- 洪水時の情報収集

実施日：平成30年7月24日（火）
19:00～19:50（うち説明30分）
参加者：大津自治会 52人
会場：大津コミュニティセンター

～ 地域の方からの主な質問 ～
・先日配布された防災ハザードマップと、これまでのハザードマップとで浸水地域が変わっている。これまでのハザードマップは、自分がイメージしていた浸水区域とは異なっていたが、先日配布された防災ハザードマップはイメージしていた物と酷似していた。以前と今回でこういった浸水地域が変わった理由は何か。

～ 回答 ～
・計画規模においては、尾原ダム・志津見ダム・斐伊川放水路が整備されたことにより、浸水範囲が少なくなり、安全性が高くなっている。

項 目	9. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内 容	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。
	令和元年度予定	継続実施
取組機関	出雲市、各消防団等、島根県	

H30 連絡調整会議、共同点検（H30出水期前）

神戸川（危険箇所 向名大橋右岸上流）



神戸川（危険箇所 明谷大橋下流右岸）



項目	10. 要配慮者利用施設の管理者等が策定する避難確保計画作成支援	
内容	H30年度取組	避難確保計画作成支援（施設管理者向け説明会の実施）
	令和元年度予定	避難確保計画作成支援
取組機関	協議会全体	

■全国目標；作成率を2021年までに100%

河川災害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H31.1.23,24】

■施設管理者向けの説明会（出雲市主催）

- 日時：平成31年1月23日(火)10:00～,14:00～
1月24日(木) 10:00～,14:00～
- 場所：島根県出雲合同庁舎 702会議室
- 内容
 - (1) 河川災害に備えて
国土交通省出雲河川事務所
 - (2) 避難確保計画(洪水)作成の留意点
島根県土木部河川課
 - (3) 土砂災害に備えて
島根県土木部砂防課
 - (4) 避難確保等の発令基準について
出雲市総務部防災安全課

- 参加
 - 対象 395施設
 - 参加 約300施設

■説明会の実施状況



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H30年度取組	協働で効果的な河川管理
	令和元年度予定	堆積土砂の撤去・伐採
取組機関	出雲市、島根県	

堆積土砂の撤去

新川（掘削）



施工前

施工後

新建川（掘削）



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H30年度取組	協働で効果的な河川管理
	令和元年度予定	堆積土砂の撤去・伐採
取組機関	出雲市、島根県	

R01 掘削・予定

神戸川（掘削）



新建川（掘削）



十間川（掘削）



九景川（掘削）



出雲圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字：H30取組内容

青字：R01取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関				備考
			出雲市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県（出雲県土整備事務所）	
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現							
1 水害危険性の周知促進	神戸川（県管理）	平成31年度末まで					◆洪水により相当な被害を生ずる恐れのある河川について検討・調整し、新たに水位周知河川に指定する。 ◆H31～神戸川（県管理）
		H30取組状況					水周知河川の指定検討
		R01取組予定					水位周知河川を指定（神戸川）【H31.4.22施行】 5/30 ホットライン情報伝達訓練（担当者で実施）
2 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	神戸川（県管理）	平成32年度末まで					◆想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図作成・公表し、出雲市へ提供する。 ◆H32～神戸川（県管理）
		H30取組状況					—
		R01取組予定					神戸川（県管理区間）洪水浸水想定区域図作成に着手
3 水害ハザードマップの改良・周知	神戸川（県管理）	平成33年度～	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 ◆印刷物を各戸配布する。				
		H30取組状況		—			
		R01取組予定		—			
4 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	神戸川（県管理）	平成32年度の出水期までに水害対応タイムラインの作成	◆水位周知河川において、氾濫危険水位等が設定された後に水害対応タイムラインを作成する。 ◆実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆水害タイムライン作成時において、相談があれば技術的助言を行う。	◆水害対応タイムラインの確認・調整。 水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	◆水位周知河川において、氾濫危険水位等を設定した後に水害対応タイムラインを作成する。 ◆実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	
		H30取組状況	—	—	—	—	—
		R01取組予定					水害対応タイムラインの作成（神戸川）
5 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットライン）	神戸川（県管理）ほか	平成32年度末まで	◆氾濫危険水位等が設定された後に出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。				◆氾濫危険水位等を設定した後に出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。
		H30取組状況	—				—
		R01取組予定	ホットラインの開設 実洪水での実施				ホットラインの開設 実洪水での実施

出雲圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字：H30取組内容

青字：R01取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関				備考	
			出雲市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県（出雲県土整備事務所）		
6 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域（出雲市）	平成30年度末まで			<ul style="list-style-type: none"> ◆防災気象情報の改善 <ul style="list-style-type: none"> ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布(メッシュ情報)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆次期水防情報システムの開発（平成31年度から運用開始） <ul style="list-style-type: none"> ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 		
		H30取組状況			<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月20日より降水短時間予報をこれまでの6時間先までから15時間先まで延長 ・平成31年3月14日より、台風強度予報をこれまでの3日間から5日間先まで延長 ・洪水警報の危険度分布において、洪水予報河川の増水によって周辺に発生する内水氾濫（赤色：重大な洪水害、黄色：軽微な洪水害）のおそれを示せるように改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期水防情報システム運用開始【H31.3.8】 ・雨量計、水位計等の更新工事に着手【H31.3契約】 		
		R01取組予定			<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報・注意報（浸水害）洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量計、水位計更新等の更新（H33.3迄） 		
7 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	圏域（出雲市）	平成30年度から順次実施	◆簡易水位計設置箇所の周知および水位情報の把握や活用の検討				◆モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る。 ○モデル河川・・・今後調整	
		H30取組状況	—				・危機管理型水位計の整備（神戸川：乙立）	
		R01取組予定	・簡易水位計設置箇所の周知および水位情報の把握や活用の検討				・既設水位計等更新工事の実施	
8 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域（出雲市）	毎年継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ◆出前講座等により防災情報の入手・活用方法を周知する。 ◆ホームページ、広報紙等を活用して防災情報を発信する。 	◆出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組む。	◆出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	◆出前講座等により防災情報の入手・活用方法を周知する。 ◆ホームページ、広報紙等を活用して防災情報を発信する。		
		H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座 51件実施（自治会、法人等） ・出水期前に広報誌に防災情報を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市立北陽小学校出前講座 ・出雲市大津地区出前講座 ・出雲市中天神地区防災会出前講座 ・出雲市北陽小学校出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・原田地区防災研修会 ・寿昌大学生涯学習講座 ・高浜地区防災研修会 ・出雲市防災安全課防災研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・平田保育園、みなみ保育園出前講座等 ・新聞広報（考える県政） 		
		R01取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を実施 ・出水期前に広報誌に防災情報を掲載 	要請により防災訓練、出前講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞広報（考える県政）、出前講座等 		
9 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検	圏域（出雲市）	平成30年度から	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防署・消防団等と共同点検する。			◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市町・消防団等と共同で点検する。		
		H30取組状況	共同点検の実施				共同点検の実施【5月23、25日】	
		R01取組予定	共同点検の実施予定				共同点検の実施予定	

出雲圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字：H30取組内容
 青字：R01取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関				備考
			出雲市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県（出雲県土整備事務所）	
10 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援	圏域（出雲市）	平成28年度から継続実施	<H29年12月時点> 【対象施設 158施設】 （内訳） 避難計画策定済み 14施設 避難計画未策定 144施設 ※ 新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆対象施設に対して、避難確保計画作成や防災メール登録の促進	◆要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ◆避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	◆平成28年度に施設管理者向け説明会を開催。 ◆避難確保計画において河川情報を有効に活用する観点から助言	
		H30取組状況	・管理者向け説明会の実施【H31.2.23,24】 <H31年3月時点> 【対象施設 349施設】 （内訳） 避難計画策定済み 25施設 避難計画未策定 324施設	・管理者向け説明会の実施【H31.2.23,24】	—	・管理者向け説明会の実施【H31.2.23,24】	
		R01取組予定	・避難確保計画作成についての支援	・説明会及び避難確保計画作成に協力する	・説明会及び避難確保計画作成に協力する	・説明会及び避難確保計画作成に協力する	
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る							
11 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域（出雲市）	平成28年度から継続実施	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、優先箇所を県と調整。			◆河川整備状況を市と共有する。 ◆河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施する。 ◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、関係市と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	
		H30取組状況	継続実施			新川外で土砂撤去、立木の撤去を実施	
		R01取組予定	継続実施			神戸川外で土砂撤去、立木の撤去を実施予定	
12 排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域（出雲市）	毎年継続実施	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。		◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	
		H30取組状況	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有		平成30年度水防計画により 排水施設、排水資機材等の情報の共有	
		R01取組予定	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有		2019年度水防計画により 排水施設、排水資機材等の情報の共有	